

令和5(2023).7.25

編集発行  
亀山地区  
社会福祉協議会

会長 大畠正彦 亀山二丁目 TEL 814-6449  
事務局 山口定己 亀山九丁目 TEL 814-7342

## 地区社協の新たな取り組み 【広島LMO(エルモ)】組織の導入!



亀山地区社会福祉協議会

会長 大畠 正彦

平素より、亀山地区社会福祉協議会（亀山地区社協）の活動に対しましてご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

3年前から世界的に流行した『新型コロナウイルス』の感染拡大が私達の生活環境に大きな影響を与えました。5月8日からは、季節性インフルエンザと同じ5類に移行したことにより活動は流行前の状態に戻ってきております。

この「コロナ禍」3年間は、地区における社会福祉活動を含め、地域活動が「自粛又は中止」の傾向がありました。「コロナ感染症」発症前に戻すには大変なエネルギーが必要となります。

地域の社会福祉協議会（地区社協）は、地域のすべてのみなさんが、明るく健やかな生活を送れるように、地域の各種団体が話し合い、協力しあって総合的な福祉の推進を図るために設置された団体です。地区社協は、この理念を大切にして、活動を推進しております。

今、広島市は「持続可能な地域コミュニティの実現に向けて」地区社協を中心に、地区の各団体の組織や活動の独立性を保ったうえで、地域の団体の活性化と住みやすい地域づくりができるよう、連携して地域の課題に取り組む活動を推進しております。その活動は、地域を基盤にした団体の活性化と住みやすい地域づくりにつながる、広島型地域運営組織【広島LMO（エルモ）】の支援制度です。亀山地区社協も、制度の導入に準備を進めています。

この活動によって、地域住民にとっての課題把握と解決体制の構築ができ交流や協議の場や機会が増える配布物などの手配が迅速化されます。団体の活動の共有化と新たな協力体制の構築が期待されます。

更には、地域の諸団体において、イベント参加の増加と活動の活性化に、女性、若者等多くの人々の参画が期待され、地域は変わってきます。

地区社協は、少子高齢化、核家族化、人口の減少が、急速に進みつつある現状を見据え、社会全体で支えあう力「自助・共助・公助・互助・近助」を今まで以上に推進することを目指しています。

亀山地区社協は、従来からの活動指針としている“住んで安全 暮して安心 絆のまち かめやま”的スローガンを基軸に活動してまいります。

具体的には、地域における高齢者・介護を必要とされる方々への支援、子育て中の方への活動支援、その他住民への福祉支援などに、若者、女性の力を取り込み、広く活動を行っていただく場の推進です。このためには【LMO（エルモ）】の導入が大切です。

亀山地区社協の活動基盤として、従来からの2つの拠点事務所を中心として、皆さまが、気軽に相談が出来る「相談日」を引き続き開設し、皆さまの困り事相談の充実を図り、各事業に反映させた活動をしていきます。

一方、従来からの次の3つの重点活動として

- ◎【近隣ミニネットワークづくりの推進事業】
- ◎【ふれあいきいきサロン設置推進事業】
- ◎【地区ボランティアバンク活動の推進事業】

この3つを皆さまのご協力によりまして今後も、取り組んでまいります、ご意見ご質問等がございましたら、お知らせ下さい。

亀山地区の活動に、更なるご支援、ご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

## 令和4年度事業報告

### (福祉推進事業)

年 月 日

- |                                                         |           |
|---------------------------------------------------------|-----------|
| 4. 4. 1 ひとりくらしの花見会 中止                                   | 可部運動公園    |
| 4. 6.17 亀山地区社協サロン代表者及び世話人交流会（助成金の配布）                    | 社協かめやま分室  |
| 4. 8.19 食中毒予防講習会 中止                                     | 亀山公民館     |
| 4. 9. 9 敬老事業（お祝い金配布）                                    | 亀山公民館     |
| 4. 10. 3 ひとり・ふたりくらしの集い（亀山地区全域） 中止                       | 亀山公民館     |
| 4. 10.22 男の料理教室（前期） 中止                                  | 亀山公民館     |
| 4. 11. 5 ひとりくらしの集い 日帰りバス旅行 中止                           |           |
| 4. 11.13 亀山地域祭りで福祉バザー 中止                                |           |
| 4. 12. 4 在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問<br>要介護者 31名、介護者 29名 計 60名 | 亀山集会所     |
| 4. 12.12 赤い羽根共同募金活動、募金集計（募金総額 895,870 円）                | 社協かめやま事務所 |
| 5. 2.13 ふれあい福祉会議と懇親会 中止                                 | 亀山公民館     |
| 5. 3. 3 男の料理教室（後期） 中止                                   | 亀山公民館     |
| <b>（各種会議）</b>                                           |           |
| 4. 4.11 亀山地区社会福祉協議会 会計監査                                | 社協かめやま事務所 |
| 4. 5.13 亀山地区社会福祉協議会 理事会（書面にて）                           |           |
| 4. 5.22 亀山地区社会福祉協議会 代議員総会（書面にて）                         |           |

### (広報活動) 広報紙「かめやま」発行

123号（7月1日） 124号（10月31日） 125号（3月31日） 3回発行

### (社協関連団体事業)

- |                                                    |              |
|----------------------------------------------------|--------------|
| 4. 11.28 安佐北区社会福祉協会長功労者表彰<br>(受賞者 下向 進、高野きれい、浅枝桂子) | 安佐北区総合福祉センター |
| 4. 12.21 広島市社会福祉協会長功労者表彰<br>(受賞者 中田佐和子)            | 広島市総合福祉センター  |

### (その他の事業)

- |                                                     |        |
|-----------------------------------------------------|--------|
| 4. 7.20 亀山学区献血推進運営委員会及び献血事前会議（書面にて審査）               |        |
| 4. 10. 1 亀山学区献血実施 受付者数 66名 採血者数 60名<br>* 全員 400ml採血 | アルゾ可部店 |

### (支援事業) サロン活動くつろぎ会・子育てサロン

## 令和4年度決算・令和5年度予算

### 収入の部

(単位：円)

| 費目        | 4年度決算     | 5年度予算     | 摘要                                |
|-----------|-----------|-----------|-----------------------------------|
| 繰 越 金     | 919,944   | 798,460   | 前年度より繰入れ                          |
| 会 費       | 574,950   | 568,050   | 一世帯拠出 150 円 × 3,787 世帯            |
| 助成金(地区社協) | 528,150   | 463,880   | 地区社協運営費・事業費・推進事業費・広報紙助成金          |
| 寄 付 金     | 277,000   | 250,000   | 香典返し、見舞い返し、その他                    |
| 負 担 金 収 入 | 0         | 180,000   | ひとりくらしのバス旅行個人負担 4,000 円 × 45 人    |
|           | 0         | 120,000   | ひとり・ふたりくらしの集い個人負担 1,000 円 × 120 人 |
|           | 0         | 90,000    | ふれあい福祉会議と懇親会個人負担金 2,000 円 × 45 人  |
| 事 業 収 入   | 0         | 50,000    | 福祉バザー                             |
| 雑 収 入     | 17,009    | 17,000    | 共同募金事務手数料・預金利息・自治連家賃負担金           |
| 収 入 合 計   | 2,317,053 | 2,537,390 |                                   |

### 支出の部

(単位：円)

| 費目          | 4年度決算     | 5年度予算     | 摘要                                                                                                                                           |
|-------------|-----------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 費         | 191,350   | 191,350   | 安佐北区社協会費 50 円 × 3,827 世帯                                                                                                                     |
| 事務所維持経費     | 119,648   | 120,000   | 家賃、電気料、電話料、社協分室運営費                                                                                                                           |
| 事 务 費       | 261,297   | 90,000    | はがき、切手、プリント、研修会、謝礼等                                                                                                                          |
| 会 議 費       | 200       | 0         |                                                                                                                                              |
| 広 報 費       | 270,900   | 305,300   | 広報紙かめやま 年3回発行 (各 4,300 部)                                                                                                                    |
| 福 祉 事 業 費   | 326,200   | 935,200   | ひとりくらしのバス旅行、ひとり・ふたりくらしの集い、男の料理教室、在宅要介護者及び介護者への配食と激励訪問、ふれあい福祉会議と懇親会、いきいきサロン助成金、子育てサロンptuneさん助成金、ボランティアバンク活動費、災害被害者見舞金・被災者援助活動費 (ひとりくらしの花見会中止) |
| コミュニティ活動推進費 | 242,432   | 168,000   | 敬老会 (白寿・米寿祝い、在宅要介護者見舞い等)                                                                                                                     |
| 団体助成金       | 106,126   | 103,000   | 子ども会育成協議会、青少年健全育成協議会、母親クラブ、いきいき子育てフェスタ                                                                                                       |
| そ の 他       | 440       | 0         | 振込手数料                                                                                                                                        |
| 支 出 合 計     | 1,518,593 | 1,912,850 |                                                                                                                                              |
| 予 備 費       | 798,460   | 624,540   |                                                                                                                                              |
| 合 計         | 2,317,053 | 2,537,390 |                                                                                                                                              |

# 令和5年度 事業計画

## (基本的考え方)

3年前から世界的に拡大した『コロナウイルス感染症』は、私達の生活環境に大きな影響を及ぼしました。やっと5月8日より季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、感染者に一律求めてきた法に基づく外出自粛要請はなくなりました。今後は自己管理となります。

この3年間の活動自粛から従来の活動に戻すには、大変なエネルギーと時間が必要ですが、亀山地区社協としては粘り強く取り組んでいくつもりです。そのためには、地域社会全体で支えあう力(自助・共助・公助・互助・近助)を今まで以上にしっかりと構築していかねばなりません。

『集いの場』『ほっとできる空気感』『活動発信の場』として、「社協かめやま 亀山7丁目」と「社協かめやま分室 亀山3丁目」を設け、月曜日から木曜日の午前中はスタッフを常駐させております。今後も「高齢者の見守り活動」「福祉何でも相談室」「子育て支援」等の事業を更に推進していきます。

このように、広島市が進めております、地区の福祉施策【広島市地域コミュニティ活性化ビジョン】に基づく「新たな補助制度」に挑戦をする年としたいと思います。

今年度も 亀山地区社協としては、上部組織である広島市社協・安佐北区社協の方針を受けて、亀山地区社協の地域性を考えつつ、従来から“住んで安心 暮して安心 絆のまち かめやま”的スローガンを基軸に活動してまいります。

## (実施計画)

【福祉のまちづくり4つの要素】(1) 安心して暮らせるまちづくり (2) 共に暮らせるまちづくり (3) 支えあえるまちづくり (4) 潤いのあるまちづくり——を目指します。具体的には、地域における高齢者・介護を必要とされる方、子育て中の方への活動支援、その他住民への福祉支援を以下の3つに分け、重要活動として取り組んでいきます。

- ①近隣ミニネットワークづくりの推進事業(ミニネット) …気がかりな人の孤立防止と変化の早期発見とつなぎ
- ②ふれあいきいきサロン設置推進事業(サロン) …住民同士が顔を合わせ、なじみの関係をつくっていく場づくり
- ③地区ボランティアバンク活動の推進事業(バンク) …お互いが助け合う地域づくり、困った時に相談できる亀山社協づくり

この活動を実施するためのツールとして「緊急医療情報キット」「緊急時見守り通報ネットワーク」「亀山地区社協相談日」の充実を図り、「サロン利用充実」「ボランティアバンク相談の充実」「高齢者への見守りの活動(認知症に関する取り組み)」「住民主体型生活支援訪問サービス」の更なる充実と定着化を図ります。

事業の実施には財政的に厳しい状況にあります。このため自己財源の確保につきまして、会員の皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願いします。

—出来ることから小さな福祉を亀山の地から—

## (事業計画)

### 福祉事業

- ①あいさつ声かけ運動 ②見守り活動の推進・ひとり、ふたりくらし等の方々への訪問、見守り・「緊急連絡体制」「緊急連絡カード」「災害時の要介護要援護者の支援」及び「安心箱」

- の設置・「となり組」活動を推進し絆を深めていく ③地区内の介護施設との交流 ④「地域包括ケアシステム」の導入を推進 ⑤「社協かめやま」「社協かめやま分室」の〈相談日〉のPR

## 高齢者福祉の向上

- ①在宅高齢者（要介護4・5）へのお見舞い
- ②在宅高齢者とその介護者及び95歳以上の高齢者に配食・励まし訪問
- ③ひとり暮らし高齢者のつどいを開催（花見会・日帰り旅行・料理教室・その他）
- ④ふたり暮らしの高齢者のつどいを開催（つどい及び懇親会・その他）
- ⑤男性のための料理教室
- ⑥その他各地域における高齢者を対象とした事業への支援

## 敬老事業

- ①米寿・白寿の方にお祝い金
- ②各地域の敬老の日に祝辞

## ボランティアバンクの充実と活動の定着

- ①バンク員を再募集し、派遣事業の充実を図る
- ②バンクスタッフの強化
- ③サロン新規開設の支援
- ④『住民主体型生活支援訪問サービス』事業との連携を強化

## 「ふれあいいきいきサロン」への支援充実

- ①幅広く参加者を募る（特に男性）
- ②サロン間の交流
- ③ボランティアバンクの活用
- ④亀山地域包括センターの支援による「ふれあいいきいきサロン」の充実
- ⑤新規開設の支援

## 「子育て育児サロン」への支援充実

- ①サロン間の交流
- ②新規開設の支援

## 災害被害者への援助

火災、風水害等の被災世帯に見舞金

## 学区内諸団体との活動推進会議・福祉懇談会の開催

- ①理事・代議員及び地域の福祉施設関係者等による研修会、情報交換会・懇談会の開催
- ②学区内諸団体の代表者及び関係者等による組織内活性化（会員の加入促進）等の情報交換会の開催

## 各地域福祉活動、子ども福祉の向上と健全育成の支援

子ども会育成協議会・青少年健全育成連絡協議会・母親クラブ活動・子ども見守り活動等への支援

## 広報活動事業

広報紙「かめやま」を年2回以上発行・変わろうとしている社会福祉の情報収集

## 自主財源の確保

「かめやま福祉バザー」（亀山地域まつり）、寄付（香典・見舞い・お祝い返し）の呼びかけ

## 事業報告

令和5年3月1日～5月31日

### ◇ひとり暮らしの花見会

=4月3日(月)中止

### ◇令和4年度会計監査

=4月12日(水)社協かめやま事務所

### ◇役員会

=4月24日(月)社協かめやま四日市分室

### ◇理事会

=5月22日(月)亀山公民館

総会要項書類にて審議実施

### ◇第47回(令和5年度)総会

=5月28日(日)中止

理事会の審議にて総会要項を代議員へ送付

## 地域福祉事業にご寄付

亀山社協に令和5年3月1日から5月31日までの間、次の皆様から貴重なご寄付を頂きました。

謹んでお礼申し上げます。

### ◎香典返し

下行森 川崎昌宏 様（妻・和子 様）

### ◎一般寄付

住民主体型訪問サービス・ボランティアコーディネーター 様

### お願い

香典、お見舞い、お祝いのお返し等を亀山地区社協へご寄付の程お願い申し上げます。

窓口は自治会長、町内会長、民生委員、社協役員です。

## かめやま広場



### 私の自慢の亀山

亀山小学校6年

梶木 佑琉歌



「おはよう」と、朝笑顔で毎日あいさつをしてくれるパトロール隊の方々。帰り道に「おかえり」と声をかけてくれる地域の方々。

そんな温かい方々に、私は感謝しています。あいさつをしてもらったら、私もありさつを返します。でも、声は出せても、目を合わせてのあいさつがなかなかできていないことがあります。だから、信号で止まった時などに、目を見て大きな声で、そして笑顔で「おはようございます」と地域の人にあいさつをしています。すると少しずつ自分に自信がついてきました。これからも、積極的にあいさつをして、地域の方々とのかかわりを深めていきたいです。

また、あいさつをしているとたくさんの気づきがありました。

1つ目は、元気が出ることです。朝眠くて学校に行くのが面倒だなと思っている時に、緑のおじさんから「おはよう。いってらっしゃい！」と言われると、心が温かくなって、よし今日もがんばろうと思えます。

2つ目は知らない人と仲良くなれることです。例えば、犬の散歩をしている人に、「ワンちゃんの名前は何ですか？」と聞くと、名前を教えてくれます。私は地域の方と会話ができるとても楽しいです。

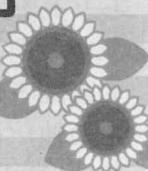
亀山には、たくさん優しい人がいてうれしいです。あいさつをすることで自信がついたり、地域の方々と交流ができたりして、「あいさつ」は、すごいと思いました。これからも、平和で楽しい亀山であってほしいです。そして、私もそんな亀山をつくる力になりたいです。



### 私の町 亀山

亀山小学校6年

角谷 美香



私が住んでいる町、亀山にはたくさんすてきなところがあります。

1つ目は、パトロール隊の方々です。朝早く起きて、子どもたちの登校を見守ってくれています。それを毎日してくださるのは、本当にありがとうございます。朝、「おはよう。行ってらっしゃい。」と言われると本当に元気が出ます。遠くからでも手を振ってくれます。このような日常生活がとても幸せだなと感じています。

2つ目は自然が豊かというところです。亀山の町には、山が多いです。川や木もあり虫も多くいます。山や川がないとちょっと寂しく感じるの、亀山の町は私に取って調度良いです。虫はあまり好きではありませんが、自然を感じられるのでいいなと思います。

3つ目は、スーパーなどのお店が多いところです。スーパーが開いていなくともコンビニなど他のお店もあるので、気軽に買い物ができるところもいいなと思います。駄菓子屋や電化製品を売っているお店もあるので、亀山はとても便利な町だと思います。

これからは、地域の方やパトロール隊の方々に当たり前のようにあいさつをしていきたいです。また、亀山の町のよいところをもっと見つけて、お母さんにお話ししていきたいです。

